



河北町立西里小学校学校便り

発行：校長 須藤里佳

令和6年6月14日

nishizato



スローガン 最高の笑顔を！ 全力で取り組む運動会

昨年度は酷暑のために9月から10月に運動会を延期。今年度より1学期に運動会を行うことにしました。1学期に行うメリットとしては、大きく次の2点があげられます。

○暑さの心配が少なく、安全に応援練習や競技練習をすることができる。

暑さをそれほど心配せずに練習を行うことができました。運動会当日は寒いくらいでした。

○高学年の意識が高まり、学校としての団結力がアップしていく。

なぜ運動会をするのかと言えば、「成長」するためです。本番当日だけではなく、その準備や練習の段階で、子どもたちの成長があります。上学年は下の学年にどういう指示をしたらいいか考えました。先に立って動きました。下の学年は、上の学年の指示や気持ちをわかろうとしていました。自分たちにできることは何かを考えて動きました。それぞれの成長です。



今年度の運動会の印象深かったところは、「互いを認め合う」という態度です。優勝は赤組、応援賞は白組でした。賞を取れない方は当然がっかりしますが、拍手を送り合う姿はすばらしかったです。「自分は精一杯がんばった。相手もがんばったことはわかる。」という納得感なのでしょう。また、徒競走のメダル授与の時も、「おめでとう」という声が自然と湧き上がり、なんて温かな運動会なのだろうと感動しました。やりきった最高の笑顔を見ることができました。

「自分ごと」「自分から」「仲間と」 キーワードが様々なところから聞こえる運動会



保護者の皆さま、地域の皆さま、ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。